

# CROS 補聴システム

- フォナック クロス B
- フォナック クロス II

## デスクトップ フィッティングガイド



(2018年8月現在)

CROS フィッティングとは、一方の耳にも難聴がある一側性難聴や一方が全く聞こえない片耳聾といった方が、その方向からの音を認識できるようになり、頭部の陰影効果による悪影響を解決する方法の1つです。このガイドでは、CROS 送信機を用いた一般的な CROS フィッティング手順について説明します。

### 対象補聴器：全ての通信機能付き補聴器

- ※ オーデオ B-ダイレクト、ボレロ B-PR、バート B チタン、ナイーダ B-R は除く
- ※ 全クラスのバート B / V-nano / 100 NW / 100 を除く
- ※ 補聴器と CROS 送信機の使用では、**ベンチャー補聴器と CROS B のような異なるプラットフォームの組み合わせ、また、耳かけ型と耳あな型のような異なる器種の組み合わせで使用することは出来ません。**  
(例：○…オーデオ B とクロス B    ✕…オーデオ V とクロス B)  
(例：○…ボレロ V と耳かけ型クロス II-312    ✕…バート V と耳かけ型クロス II-312)
- ※ クロス B-R とご使用いただける補聴器はオーデオ B-R のみです。

### フィッティングの前に・・・



顧客プロフィールとオーディオグラムを入力してください。  
聞こえの良い側が良聴耳です。良聴耳が健聴でも必ずオーディオグラムを入力してください。オーディオグラムが無い場合は 15dB 水平型のオーディオグラムを入力してください。

### クロス送信機の接続

CROS フィッティングでは iCube II をご使用いただくことをお奨めします\*。iCube II を使用すると、フィッティング中も CROS システムが有効になり、デモを行いながら調整することが可能となります。

\*フォナック クロスは利用不可

iCube II                    補聴器と CROS 送信機に電池を入れ、バッテリーホルダーを閉じ電源を入れてください。

NOAHlink / Hi-Pro      補聴器と CROS 送信機をフォナック専用ケーブルで接続してください。

耳かけ型フォナック クロス B-312  
耳かけ型フォナック クロス II-312

耳かけ型フォナック クロス B-13  
耳かけ型フォナック クロス II-13

耳あな型フォナック クロス B-312/13  
耳あな型フォナック クロス II-312/13



① iCube II 以外を使用した場合、フィッティング中の CROS システムは無効になります。



接続 をクリックします。



接続された器種が表示されます。  
【続行】を押して進みます。



接続が成功したら、音響パラメータの画面で使用する補聴器のパラメータ（レシーバーや耳せん）が合致しているか確認してください

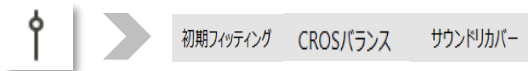


## 基本調整

良聴耳に装用する補聴器の調整は、通常の補聴器のフィッティングと同様です。



1. CROS システムを BiCROS\*として使用する場合、ダッシュボードの をクリックし、【ハウリングと実耳テスト】を開き、ホイッスルブロックを **全てオン** に設定するか **開始** をクリックし、ハウリングと実耳テストを開始してください。

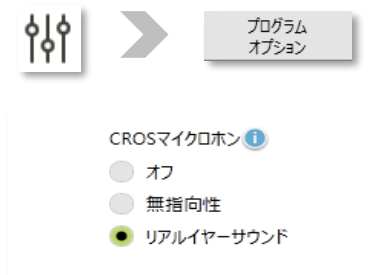


2. のタブでは初期フィッティング（利得レベル・閉塞感対処・圧縮比）、CROS バランス、サウンドリカバーを設定します。

\* 良聴耳にも難聴ある CROS システムの使用パターン

## 微調整

補聴器のプログラムごとにマイクロホンモードを変更させることが可能です。



1. ダッシュボードの をクリックし、【微調整】を開きます。
2. 左側のプログラム一覧から目的のプログラムを選択した後、プログラムオプションを開きます。オートセンス OS はどのプログラムを変更しても共通の設定となります。
3. CROS マイクロホンのモードを変更します。

① CROS フィッティングでは、CROS 送信機のマイクロホンをオフにしたプログラムを追加設定することができます。このプログラムに切り替えることで、一時的に CROS 送信機なしで補聴器が使用可能となります。


## 機器オプション

### ① プログラムスイッチとボリュームコントロール

CROS 送信機では、設定により CROS 送信機からの音量のみを調節できる CROS バランスに割り当てることが可能です。但し、組み合わせる補聴器と CROS 送信機のタイプによって、利用可能なプログラムスイッチとボリュームコントロールの設定内容が異なります。下記をご参照ください。



プログラムスイッチ

1. ダッシュボードの  をクリックし、[プログラムスイッチ]を開きます。プルダウンメニューから利用したい設定を選択します。

### < ベンチャーシリーズ補聴器とフォナック クロス II の機器オプション表示一覧 >

PS=プログラムスイッチ

VC=ボリュームコントロール

パターン	組合せ（耳かけ型）	組合せ（耳あな型）	PS：短押し	PS：長押し	VC：補聴器	VC：クロス II
①	ボレロ V-P/SP オーディオ V-13 ナイター V-RIC/SP/UP スカイ V-RIC/P/SP/UP	パート V- 10/312/13 (VCあり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>プログラムを変更する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>スタートアッププログラム</li> <li>選択したプログラム</li> <li>マイクロホン減衰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリューム</li> <li>機能なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CROSバランス</li> <li>機能なし</li> </ul>
	クロス II-13	クロス II-312/13 (VCあり)				
②	ボレロ V-M オーディオ V-312/312T	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>プログラムを変更する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>スタートアッププログラム</li> <li>選択したプログラム</li> <li>マイクロホン減衰</li> </ul>	利用不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリューム</li> <li>機能なし</li> </ul>
	クロス II-13	-				
③	ボレロ V-P/SP オーディオ V-13	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>プログラムを変更する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>スタートアッププログラム</li> <li>選択したプログラム</li> <li>マイクロホン減衰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリューム</li> <li>機能なし</li> </ul>	利用不可
	クロス II-312	-				
④	ボレロ V-M オーディオ V-312/312T	パート V- 10/312/13 (VCなし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>プログラムを変更する</li> <li>ボリューム (右：大きく、左：小さく)</li> <li>CROSバランス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>スタートアッププログラム</li> <li>選択したプログラム</li> <li>マイクロホン減衰</li> </ul>	利用不可	利用不可
	クロス II-312	クロス II-312/13 (VCなし)				

### < ビロングシリーズ補聴器とフォナック クロス B の機器オプション表示一覧 >

パターン	組合せ（耳かけ型）	組合せ（耳あな型）	PS：短押し	PS：長押し	VC：補聴器	VC：クロス B
①	オーディオ B-13 ボレロ B-P/SP ナイター B-SP/UP スカイ B-P/SP/RIC	パート B-10/312/13 (VCあり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>プログラムを変更する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>スタートアッププログラム</li> <li>選択したプログラム</li> <li>マイクロホン減衰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリューム</li> <li>機能なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CROSバランス</li> <li>機能なし</li> </ul>
	クロス B-13	クロス B-312/13 (VCあり)				
②	オーディオ B-312/312T ボレロ B-M	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>プログラムを変更する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>スタートアッププログラム</li> <li>選択したプログラム</li> <li>マイクロホン減衰</li> </ul>	利用不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリューム</li> <li>機能なし</li> </ul>
	クロス B-13	-				
③	オーディオ B-13 ボレロ B-P/SP ナイター B-SP/UP スカイ B-P/SP/RIC	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>プログラムを変更する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>スタートアッププログラム</li> <li>選択したプログラム</li> <li>マイクロホン減衰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリューム</li> <li>機能なし</li> </ul>	利用不可
	クロス B-312	-				
④	オーディオ B-312/312T ボレロ B-M	パート B-10/312/13 (VCなし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>プログラムを変更する</li> <li>ボリューム (右：大きく、左：小さく)</li> <li>CROSバランス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>スタートアッププログラム</li> <li>選択したプログラム</li> <li>マイクロホン減衰</li> </ul>	利用不可	利用不可
	クロス B-312	クロス B-312/13 (VCなし)				
⑤	オーディオ B-R	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能なし</li> <li>プログラムを変更する</li> <li>ボリューム (右：大きく、左：小さく)</li> <li>CROSバランス</li> </ul>	電源オン/オフ	利用不可	利用不可
	クロス B-R	-				

- ① 機器オプションでは、項目ごとに選択肢から機能を1つ設定することが出来ます。
- ① パターン④⑤の場合、CROS バランスに設定したプログラムスイッチは左右ともに CROS バランスとして動作します。  
プログラムとボリュームコントロールの両方を使用したい場合は、パイロットワン II などのリモコンをお使いください。
- ① CROS バランスが使える組合せは、耳かけ型と耳あな型のパターン①④⑤になります。
- ① CROS システムにおいて、補聴器と CROS 送信機が耳かけ型と耳あな型の組み合わせで使用することは出来ません。
- ① 0~3 歳には CROS 送信機の使用をお勧めしません（詳しくは小児用フィッティングガイドを参照ください）。

## ② お知らせ音と警告音

CROS 送信機に関する警告音は全て補聴器を通じて聞こえます。



1. ダッシュボードの をクリックし、[機器オプション] を開きます。
2. [お知らせ音と警告音] をクリックします。
3. CROS 送信機の電池寿命お知らせ音をデモするには CROS 送信機側の [注意と警告] の横にある をクリックし、表示される **低電圧** をクリックします。
4. 補聴器と同様に、強さと周波数も変更できます。



## 保存と終了

右上の **セッションを閉じる** をクリックすると、保存ダイアログが表示されます。

CROS 送信機・補聴器・データベース、そして必要に応じてアクセサリにチェック  が付いているのを確認し、保存を行ってください。